

(1) 被験児の生活環境で育ち、仙台市内という生活環境で育ち、その構成が違うとき、これにどう働きかけ、それによりどう持続するかを調べてみた。遊具には既製のもの（木製の電車で色彩が施された車輪には音響のもの）、(木製で色彩も施された素材との二種類を取り上げた。)など、子どもの興味が、同じ遊具でもそれと組立ててができます。

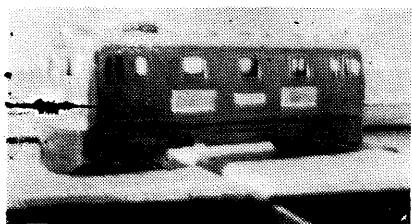
## 幼児の興味持続のテスト

尚絅女学院短期大学卒業生

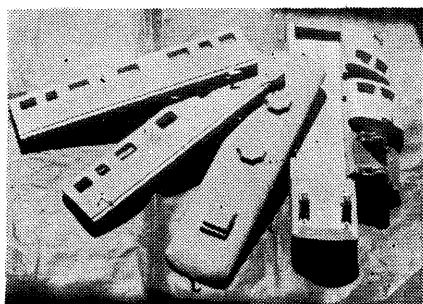
B	C	D	E
男 5年11ヶ月	女 4年	女 5年	男 4年
種々の玩具をもち、与えた材料よりよい物ばかりで、素材の玩具だけは初めてまだ学校の子どもたちが帰っていないからだったのであれば強い遊びは行なわれていない	多くの玩具に接している夕方であつたが疲れてもいす非常に機嫌がよい	平常は人形、ままごとなど友だちはあまりない夕方。疲労の様子は見られない	玩具は少なく主に三輪車などで、おとなとの接触が多い
おちついていた	おちついていた	他人の家であつたが気にとめる様子もなく誘導にのり落ちつきはあった	身体的には良好
他人の家。静かで何の雑音も聞こえず、近くには材料の他興味をさそうものは全くなく絶好の場所	担当者の家で玄関脇の室を使用。玩具にむちゅうで来客には気付かず。家の周囲はとても静か	担当者の家の2階。車道に面していて騒音が多いがその環境にはなれていない	知らない担当者がいても人見知りはしなかったがおちつきはなかった
ちょうど遊びに来て、すぐ材料に目をつけ、遊び方も云わぬうちに「組立てるの？」と入りこみ、観察者らがいるのも忘れ目的も知らず最後まであそぶ	好きな方をとらせ子どもには困難と思う個所は担当者が伝った。「どちらがいいかな」と云いながら素材の方をとった。観察者には全く意識しなかった	検査者の目的を知らせないようにした。二つ並べて与え、遊びの最終助言と素材の不完全な個所の手伝いをした。気分転換を計った。素材に対しておもしろいなどいう反応が見えた興味をもつた	玩具を三つならべて与え、素材に対する興味をひくため、検査者が組立ててみせたり声をかけたが素材に対する興味が起つてくる様子が少なかった
二台の車を与えるとすぐに素材をつかみひとりで遊びはじめ、12分間で立派に組立てて「誰がつくったの？」と尋ねながらその上に既製品を重ねたがすぐにこわれた。が、またはじめから組立てはじめた。常に独言を言い熱中していたが材料が合いにくくてこわれやすく40分間に4回つりなおした。車に遊びをはじめるとすぐこわれ50分であきてしまい、部分の雑な所を探し始めたが素材を手から離さず既製品には手をかけようともしなかった	素材を裏返しにし車を付けた時組立てが崩れてしまつたがすぐやり直し始めた。車体だけを前後に動かしてみた。素材と組み立てるだけ変わらねえ」と云った。ホックの具合がうまくいかないので「叩いてみたいといいんじゃないか」といふ木と木でいろんな所を叩いてみた。ホックで組み立てを乗せてやると喜んだ。既製の窓をのぞいてにっこりしたがすぐ素材へ移って再び組立て始めて完成し前後に走らせてみた。前に素材の方に興味を持った	はじめ既製の方に手を出したが素材から手を離さないで検査者が組立ててみせる組立てはじめた。そして立てる時間が早くなっていた。1回目—10分間 2回目—6分間 3回目—6分間 4回目頃から調子が出て歌や独言を言いながらやっていた。6回目頃から少しスローになり「電話ゴッコ」で検査者相手に「モシモシ車が病気デスカラ直シシテ下サイ」などと云う。7回目は3分間で組立て終りました。まだ持続する様子であった。素材にたいへん興味をもつた	始め既製の方に手を付けた。その後に素材を入れる方の車を入れることでできただがすぐ既製品の方に手を出した。そして素材の完成で担当者がねだつた。担当者が組立て中にも既製に行なった。近寄り既製を見るだけ「バラバラになるからおもしろくない」と言つた。40分後には担当者が組立て手伝つたり誘導しても見向きもしなかった
全体時間 60分間 既製のみ 0% 素材のみ 95% 両方に 5%	全体時間 40分間 既製のみ 4% 素材のみ 95% 両方に 1%	全体時間 63分間 既製のみ 2% 素材のみ 95% 両方に 3%	全体時間 40分間 既製のみ 95% 素材のみ 3% 両方に 2%

### 本テストに使用した玩具

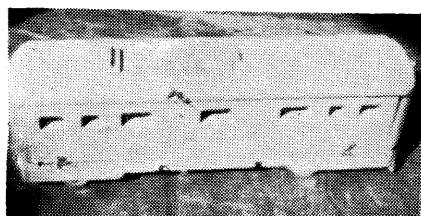
(A)既製のもの 鉄製で色彩がほどこされ音響を発する



(B)素材(木製で色彩はほどこされていない)



↑ 分解された状態  
↓ 組立てられたもの



調査時期	研究指導者	調査参加者	テスト時間 平均時間	既製のみ 素材のみ 両方に
(一九六〇年11月上旬)	伊藤常吉	加藤整子	46分間	
	佐藤栄子	佐藤栄子	3% 76% 21%	
	白石寿美子	白石寿美子		
	後藤恭子	後藤恭子		
	具田富貴子	具田富貴子		
	伊木愛子	伊木愛子		
	伊藤紀子	伊藤紀子		
	七尾ミオ	七尾ミオ		
	鎌田栄子	鎌田栄子		

(2) 幼稚園や保育所に通つていな  
い子ども。こ  
(3) 年令は4才から6才の者。  
こでは5名を上げ、これらをA  
B C D Eと呼ぶことにする。  
子どもは無作為(ランダム  
式)で選んだ。

(4) 下の表の通り。

調査の結果 下の表の通り。

結尾 下の表の通り。

下の表で明らかなように、Eを除いては幼児の玩具にはたらく興味は素材のものに対し絶対的である。Eの既製のものにむけられた関心には、この子どもが最年少であること、他の子どもにくらべてあまりもち合せておらないことが考えられるよう。

A	
1. 性別・年令	男 5年3ヶ月
2. 玩具を基とした生活環境	多くの玩具に接している
3. テスト時の身体的条件(その他)	風邪のため発熱し元気がない。午後のため疲労が出てきた様子
4. テスト時の心理的条件(疲労、その他)	おちついていた
5. テスト時の場所(他の刺激如何)	子どもの家。他の子どもが外で騒しく遊んでおり、やや気持が散りぎみ。検査には不適当な条件
6. 検査者が臨んだその導き方と子どもの応じ方	好きな方で遊ぶように誘導すると「あ!組立てだっちゃ」と云って既製より素材の方に興味を持ち、組立時間全体の96%を素材のもので遊ぶ
7. 玩具に対する子どもの興味の起り方	はじめ素材・既製両方に手をつけたが素材の方に興味をもち解体した。すぐ組立て始め約6分で9分通り組立てたがたがだけホップがかからず放棄遊びようとしましたので手伝って遊びを持続させた。二つの玩具を並べて相違点をあげ評価をもった。好きなのは既製のもの、おもしろいのは素材の方、と云った。自分の玩具も入れつないで遊んでいたが、最後に素材に既製のものをぶつけ解体して遊びをやめた
8. 興味の持続状態	全体時間 26分間 既製のみ 0% 素材のみ 96% 両方に 4%